

## 保育者養成課程における紙芝居 その 2 — 学生のアンケート調査を通して —

鬢 櫛 久美子  
野 崎 真 琴

### 1. はじめに

今日、紙芝居は昔の街頭紙芝居のように広く世間に普及しているわけではない。また戦後、小学校以上の教育の中では、紙芝居はほとんど用いられなくなった。一方、保育現場においては、紙芝居は今でも活用されている。それは、保育の中では、紙芝居が何らかの役割を現実に果たしてきたからであると思われる。保育における紙芝居活用の意義や活用法についての十分な理解のもとに、保育現場で用いられているのであろうか。このような問題意識の基に、保育現場での紙芝居の活用状況に関する調査を実施したところ、紙芝居の特性を十分捉えた活用がなされていないのではないかとということが考察された<sup>1)</sup>。

このことから、保育において、紙芝居を教材・教具としてより効果的に活用するためには、現任の保育者が紙芝居の特性や活用方法等について理解を深められるような機会が必要であると考えた。また、保育者養成課程においては、学生が紙芝居について学習できるような機会をつくっていくこと、カリキュラムを考案していくことが重要であると考えた。

保育者養成課程における紙芝居についての学びは、保育者としての知識や技能を養い高めるだけでなく、それ以外の力を養う機会にもなりうると考える。例えば、演じ手と観客、観客相互の直接的な触れ合いによって成立する紙芝居を教育メディアとして活用することで、コミュニケーション能力の向上等を図ることが期待できるのではないか。情報化が進み、社会全体として人と人との生のかかわりの機会は減り、コミュニケーション能力の低下が指摘される今日、コミュニケーション能力を養い、高めることは、保育の対象である幼児期の子どもにも、その子どもの発達援助に携わる保

育者を目指す、養成課程の学生にも重要なことである。さらには今日大学によりその強化や改善が求められている就職指導、職業支援にもつながると考える。

そこで本研究は、保育者養成課程において紙芝居を教育メディアとしてカリキュラムに導入する方法を今後検討していく端緒として、保育者養成課程にある学生の紙芝居とのかかわりの実態について調査・分析することを課題とした。

### 2. 調査概要

#### (1) 調査対象及び調査方法

大学及び短大の保育者養成課程に在学中の学生を対象に、アンケート調査を実施した。2010年7月に、本学(R短大)の当時2年生に在籍する学生を対象にアンケート調査を行った<sup>2)</sup>。本学の特徴を明らかにするために、また他大学も含めて、保育者養成課程全体の傾向を明らかにするために、2011年5~7月に、同じ内容のアンケート調査を、他大学の保育者養成課程の2年生に在学中の学生を対象に実施した。同じ保育者養成課程を置く大学であっても、2年課程と4年課程との違いや地域差等があるか否かについて検討するために、大学ごとにアンケートを集計、分析し、比較考察を行った。調査対象者及び回答数については、下記に示すとおりである。

〈アンケート対象者(回答数)〉

R短大(愛知県)2年生	196名
A短大(愛知県)2年生	83名
T短大(千葉県)2年生	98名
H大学短大部(京都府)2年生	65名
S大学(愛知県)2年生	88名
J大学(福井県)2年生	50名

## (2) 調査内容

調査内容は以下の通りである。

### ① 紙芝居とかかわった経験

現在在学中の大学に入学する以前に、紙芝居が演じられるのを見た経験があるかどうか。また、その経験がある場合、いつどこで経験したのか。

大学入学後も含め、これまでに紙芝居を自分で演じたり、作ったり、紙芝居について学んだ経験があるかどうか。またその経験がある場合、いつどこで経験したのか。

### ② 絵本とかかわった経験

大学に入学する以前に、絵本を読み聞かせてもらった経験があるかどうか。またその経験がある場合、いつどこで経験したのか。

大学入学後も含めこれまでに、絵本を自分で読み聞かせたり、作ったり、絵本について学んだ経験があるかどうか。またその経験がある場合、いつどこで経験したのか。

### ③ 保育における絵本と紙芝居の使い分けに対する意識

保育の場において、絵本と紙芝居を使い分けるべきであると思うか否か。使い分けるべきであると思う場合、どのように使い分けるべきであるか。またその考えは自分自身の考えであるか、どこかで学んだのか。

具体的なアンケート項目については、文末に資料として添付したアンケート用紙の通りである。

## 3. 結果と考察

### (1) 大学入学前に紙芝居が演じられるのを見た経験

大学入学以前に紙芝居が演じられるのを見た経験がある者の割合は、どの大学も6割から7割を超える結果であった。(表1-1)見た時期としては、J大学以外は最も多かったのは就学前であり、次に多いのが小学生の頃であった。J大学は小学生が最も多く、続いて就学前であった。(表1-2)紙芝居が演じられるのを見た場所については、表には示していないが、就学前においては「幼稚園」や「保育所」との答えが一番多く、小学生の時期においては「図書館」「公民館」等が挙げられていた。

一方、大学入学前に絵本を読み聞かせてもらっ

た経験があると答えた学生の割合は、どの大学も7割あるいは8割を超える。(表1-3)全大学において、先の紙芝居が演じられるのを見た経験がある者の割合よりも高い。読み聞かせてもらった時期としては、全大学で就学前との答えが最も多く、次に小学生が続く。(表1-4)表示していないが、読み聞かせてもらった場所としては、「幼稚園」と「保育所」を合わせた数が他よりも多い。以上のことは、紙芝居と同様の傾向と言える。しかし、紙芝居を「家」で見たという学生はごく少数であったのに対し、絵本については「家」で読み聞かせてもらった学生も多いことが把握された。家庭では紙芝居よりも絵本に親しんでいた傾向が窺われる。

### (2) 紙芝居を演じた経験

紙芝居を演じた経験があるかどうかについては、各大学において6~9割の学生が「ある」と答えている。(表2-1)「ある」と答えた者については、いつ演じたかとの問いに対しては、どの大学においても大学生の時期が最も多い。(表2-2)どこで演じたかに関しては、J大学は「授業」が一番多いが、他は「実習」でとの回答が一番多い。

絵本の読み聞かせをした経験がある者については、80%から100%近い割合であり(表2-3)、A短大以外は紙芝居を演じた経験をした者の割合よりも高い。いつどこで読み聞かせたかについては、全大学において、大学生の時期における「実習」が圧倒的に多い。(表2-4)

保育者養成課程に学ぶ学生の多くは、紙芝居を演じる経験、絵本の読み聞かせの経験を大学入学後の実習でしていることがわかる。

### (3) 紙芝居を作った経験

紙芝居を作った経験が「ある」と答えた学生は、H大学以外の大学においては、演じた経験者の割合に比べるとかなり少ない。(表3-1)作った時期については、大学により異なる結果が出た。R短大とH大学は大学生が最も割合が高く、特にH大学は紙芝居を作った経験がある者が8割近くおり、その内の7割近くは大学生の時期と回答している。(表3-2)

一方、絵本を作った経験については、R短大

表1-1 大学入学以前に紙芝居が演じられるのを見た経験 (%)

	ある	ない	無回答
R短大	73.5	26.5	0
A短大	66.3	32.5	1.2
T短大	75.5	24.5	0
H大学	66.2	33.8	0
S大学	75.0	22.7	2.3
J大学	74.0	26.0	0

表2-1 紙芝居を演じた経験 (%)

	ある	ない	無回答
R短大	88.3	11.2	0.5
A短大	79.5	20.5	0
T短大	70.4	28.6	1.0
H大学	63.1	36.9	0
S大学	67.0	33.0	0
J大学	68.0	30.0	2.0

表1-2 大学入学以前で紙芝居が演じられるのを見た時期(複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	その他	無回答
R短大	48.5	21.4	1.0	5.1	0.5	0
A短大	37.3	14.5	3.6	9.6	0	6.0
T短大	36.7	23.5	2.0	2.0	0	0
H大学	23.1	20.0	1.5	9.2	10.8	6.2
S大学	40.9	26.1	3.4	1.1	6.8	0
J大学	28.0	38.0	6.0	2.0	0	8.0

表2-2 紙芝居を演じた時期(複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	無回答
R短大	0.5	1.5	2.6	2.6	82.7	0	1.5
A短大	1.2	2.4	4.8	8.4	56.6	0	0
T短大	8.2	10.2	1.0	5.1	50.0	3.1	2.0
H大学	4.6	3.1	3.1	10.8	32.3	0	6.2
S大学	1.1	10.2	5.7	2.3	36.4	4.5	0
J大学	0	10.0	8.0	4.0	52.0	0	0

表1-3 大学入学以前に絵本を読み聞かせてもらった経験 (%)

	ある	ない	無回答
R短大	84.2	15.3	0.5
A短大	74.7	24.1	1.2
T短大	85.7	12.2	2.0
H大学	84.6	15.4	0
S大学	81.8	14.8	3.4
J大学	78.0	22.0	0

表2-3 絵本を読み聞かせをした経験 (%)

	ある	ない	無回答
R短大	98.0	1.5	0.5
A短大	78.3	21.7	0
T短大	84.7	14.3	1.0
H大学	92.3	4.6	3.1
S大学	89.8	10.2	0
J大学	98.0	2.0	0

表1-4 大学入学以前で絵本を読み聞かせてもらった時期(複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	無回答
R短大	79.1	30.1	3.1	6.6	0
A短大	53.0	18.1	2.4	3.6	0
T短大	52.0	28.6	4.1	4.1	3.1
H大学	44.6	16.9	3.1	12.3	7.7
S大学	55.7	19.3	2.3	1.1	0
J大学	50.0	32.0	6.0	2.0	8.0

表2-4 絵本を読み聞かせをした時期(複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	無回答
R短大	0.5	0	2.6	1.5	92.3	0
A短大	0	3.6	4.8	13.3	48.2	0
T短大	1.0	6.1	3.1	10.2	62.2	3.1
H大学	1.5	3.1	0	1.5	86.2	1.5
S大学	0	0	3.4	3.4	59.1	9.1
J大学	2.0	0	4.0	4.0	88.0	4.0

表 3-1 紙芝居を作った経験 (%)

	ある	ない	無回答
R 短大	30.1	69.9	0
A 短大	13.3	84.3	2.4
T 短大	22.4	77.6	0
H 大学	76.9	23.1	0
S 大学	22.7	77.3	0
J 大学	8.0	90.0	2.0

表 3-2 紙芝居を作った時期 (複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	無回答
R 短大	0	4.1	1.5	4.6	18.4	1.5
A 短大	0	3.6	3.6	3.6	0	2.4
T 短大	0	9.2	4.1	2.0	8.2	1.0
H 大学	0	1.5	1.5	6.2	67.7	0
S 大学	0	13.6	1.1	0	0	4.5
J 大学	8.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0

表 3-3 絵本を作った経験 (%)

	ある	ない	無回答
R 短大	60.7	38.3	1.0
A 短大	37.3	62.7	0
T 短大	34.7	64.3	1.0
H 大学	52.3	44.6	3.1
S 大学	29.5	70.5	0
J 大学	26.0	74.0	0

表 3-4 絵本を作った時期 (複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生	無回答
R 短大	1.0	5.6	4.1	5.6	46.4	0
A 短大	0	4.8	16.9	15.7	0	0
T 短大	2.0	5.1	6.1	4.1	13.3	2.0
H 大学	0	9.2	12.3	12.3	16.9	3.1
S 大学	2.3	10.2	13.6	1.1	0	0
J 大学	0	8.0	4.0	6.0	6.0	4.0

と H 大学以外は、回答者の半数以上は「ない」と答えている。(表 3-3) それでも「ある」と答えた者の割合は、H 大学以外は、紙芝居を作った経験のある学生の割合よりも高い。R 短大及び H 大学は絵本を作った経験が「ある」と答えた学生が半数以上あり、大学生になって授業でというものが多い。(表 3-4)

#### (4) 紙芝居について学んだ経験

紙芝居について、その「演じ方」を学んだ経験がある学生は、H 大学及び S 大学以外では、6 割から 8 割近くいる。(表 4-1) いつ学んだかについては、全大学において、大学の授業でとの回答が最も多い。(表 4-2) 学んだ科目としては、言葉、国語、児童文化(子どもと文化)といったものが挙がっていた。「作り方」については、H 大学以外は「ない」と答えた者の割合が 7 割以上である。(表 4-3) 学んだ時期としては、S 大学以外のどの大学においても、大学の授業でとの回答が最多であった。(表 4-4) H 大学は紙芝居を作った経験の「ある」が半数近くおり「ない」者を若干上回る。(表 4-3) 主に「図画工作」の授業で学んだようである。紙芝居の「歴史」について学んだ経験は、「ある」の回答が 6 割近い J 大学以外は、「作り方」よりもさらに低い割合である。(表 4-5) 学んだ時期としてはいずれも大学の授業が多い。(表 4-6)

絵本に関して学んだ経験については、「読み聞かせ方」は紙芝居の演じ方に比べて、学んだ経験者の割合は A 短大以外のすべての大学で高い。(表 4-7) 学んだ時期は、全大学において大学の授業が最多である。(表 4-8) また、「作り方」を学んだ者の割合については、H 大学以外は紙芝居と比べると高いが、「ない」との回答がどの大学においても半数以上に上る。(表 4-9) 学んだ時期については大学ごとで傾向が異なるが、大学生の時期が多い。(表 4-10) 「歴史」を学んだ経験に関しては、J 大学以外は「作り方」以上に少なく、紙芝居と同様の傾向である。(表 4-11、表 4-12) しかし、紙芝居よりは絵本の歴史の方が、どの大学でも学んだ経験者の割合が高い。なお J 大学は紙芝居・絵本の歴史について学んだ割合が他大学と比べてかなり高い。これについて

表4-1 紙芝居の演じ方について学んだ経験(%)

	ある	ない	無回答
R短大	62.2	37.2	0.5
A短大	78.3	19.3	2.4
T短大	72.4	26.5	1.0
H大学	33.8	64.6	1.5
S大学	20.5	76.1	3.4
J大学	90.0	10.0	0

表4-5 紙芝居の歴史を学んだ経験(%)

	ある	ない	無回答
R短大	10.7	88.8	0.5
A短大	7.2	89.2	3.6
T短大	2.0	95.9	2.0
H大学	0	92.3	7.7
S大学	0	94.3	5.7
J大学	58.0	38.0	4.0

表4-2 紙芝居の演じ方を学んだ時期(複数回答)(%)

	小学生	中学生	高校生	大学生	無回答
R短大	0.5	0	2.0	57.7	0
A短大	1.2	1.2	3.6	69.9	0
T短大	0	1.0	2.0	61.2	7.1
H大学	0	0	9.2	21.5	3.1
S大学	0	0	0	10.2	6.8
J大学	0	0	0	88.0	2.0

表4-6 紙芝居の歴史を学んだ時期(複数回答)(%)

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	無回答
R短大	0.5	0	0	10.2	0	0
A短大	1.2	1.2	1.2	3.6	0	0
T短大	0	0	1.0	1.0	0	0
H大学	0	0	0	0	0	0
S大学	0	0	0	0	0	0
J大学	0	0	0	54.0	0	4.0

表4-3 紙芝居の作り方を学んだ経験(%)

	ある	ない	無回答
R短大	12.8	86.2	1.0
A短大	13.3	83.1	3.6
T短大	11.2	86.7	2.0
H大学	49.2	44.6	6.2
S大学	4.5	92.0	3.4
J大学	26.0	70.0	4.0

表4-7 絵本の読み聞かせ方を学んだ経験(%)

	ある	ない	無回答
R短大	94.4	4.6	1.0
A短大	73.5	25.3	0
T短大	74.5	23.5	2.0
H大学	86.2	10.8	3.1
S大学	64.8	31.8	3.4
J大学	98.0	2.0	0

表4-4 紙芝居の作り方を学んだ時期(複数回答)(%)

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
R短大	1.0	0	1.5	9.7	0
A短大	1.2	1.2	3.6	4.8	0
T短大	2.0	1.0	1.0	4.1	2.0
H大学	1.5	0	3.1	41.5	0
S大学	2.3	0	0	0	0
J大学	0	0	0	26.0	0

表4-8 絵本の読み聞かせ方を学んだ時期(複数回答)(%)

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	無回答
R短大	0	0	0	91.3	0	0
A短大	0	2.4	8.4	62.7	1.0	0
T短大	1.0	2.0	3.1	62.2	0	7.1
H大学	0	0	7.7	67.7	3.1	0
S大学	0	0	0	44.3	3.4	0
J大学	0	0	2.0	94.0	0	2.0

表 4-9 絵本の作り方を学んだ経験 (%)

	ある	ない	無回答
R 短大	28.5	67.9	3.6
A 短大	27.7	67.5	4.8
T 短大	27.6	70.4	2.0
H 大学	27.7	64.6	7.7
S 大学	6.8	89.8	3.4
J 大学	38.0	54.0	8.0

表 5-1 保育の場で紙芝居と絵本を使い分けるべきだと思うか (%)

	はい	いいえ	無回答
R 短大	35.2	61.2	3.6
A 短大	50.6	48.2	1.2
T 短大	61.2	35.7	3.1
H 大学	41.5	50.8	7.7
S 大学	58.0	40.9	1.1
J 大学	36.0	58.0	6.0

表 4-10 絵本の作り方を学んだ時期 (複数回答) (%)

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生
R 短大	0	0.5	1.5	2.6	20.9
A 短大	0	1.2	8.4	9.6	6.0
T 短大	0	4.1	1.0	2.0	16.3
H 大学	0	1.5	7.7	7.7	7.7
S 大学	1.1	1.1	4.5	0	0
J 大学	0	0	0	2.0	36.0

表 5-2 紙芝居と絵本との使い分けについての学習 (%)

	学習した
R 短大	5.1
A 短大	10.8
T 短大	11.2
H 大学	6.2
S 大学	10.2
J 大学	0

表 4-11 絵本の歴史を学んだ経験 (%)

	ある	ない	無回答
R 短大	13.8	81.1	5.1
A 短大	13.3	83.1	3.6
T 短大	6.1	87.8	6.1
H 大学	1.5	87.7	10.8
S 大学	6.8	88.6	4.5
J 大学	70.0	22.0	8.0

表 4-12 絵本の歴史を学んだ時期 (複数回答) (%)

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	無回答
R 短大	1.0	0	0	11.2	0	0
A 短大	0	1.2	3.6	6.0	0	0
T 短大	0	0	1.0	5.1	0	0
H 大学	0	0	0	0	1.5	0
S 大学	0	0	0	5.7	1.1	0
J 大学	0	0	0	68.0	0	2.0

は学んだ授業として保育内容に関する科目 (子どもの文化、言葉) が回答に挙げられていた。この科目の担当教員は絵本の研究をしており、このことが授業の内容に関係していると思われる。

(5) 保育における紙芝居と絵本の使い分けに対する意識

保育の場で紙芝居と絵本を使い分けるべきかの問いに対する回答は、「はい」が過半数である大学が3校、「いいえ」が過半数である大学が3校で、大学により傾向が異なっていた。(表5-1)しかし、使い分けについての考えは、「どこかで学習した」と回答した割合は多い大学でも1割程度であり、すべての大学において低い。(表5-2)また、どのように使い分けるかべきかについては、どの大学においても、対象となる子どもの人数の規模による、といった回答が最も多かった。これら使い分けに対する考えについては、学習した結果として答えたというより、大半の学生が、紙芝居を演じてもらったり、絵本を読み聞かせてもらった経験や、自ら演じたり、読み聞かせをした経験

から、感じ取った結果であると考えられる。使い分けるべきであるということ、経験的に答えることができても、その理由までは十分に回答できていないことから、紙芝居と絵本の特性の違いを学習により十分に理解できているわけではないことが窺い知れる。

#### 4. おわりに

今回の調査結果より、保育者養成課程の学生は、紙芝居と絵本とで比較をすれば、概して紙芝居よりも絵本とのかかわりの経験を多くしてきており、入学後の学習においてもその傾向がみられた。しかしながら、紙芝居についても、多くの学生が、紙芝居を演じた経験をしており、特に大学の実習で演じた経験をしている者が多いことがわかった。ところが、ほとんどの大学では、その演じた経験をした者の割合の高さに対して、演じ方について学んだ経験がある者の割合は低く、学びと実践とが十分対応しているとは言えないことが窺い知れた。また、本調査研究は、本学(R短大)の特徴を探ることも課題の一つとしていたが、今回調査対象とした保育者養成校全体としての傾向に沿うような結果であることが把握できた。

今回の調査からは、紙芝居の演じ方に比べて作り方や歴史について学んだ経験がある学生の割合は、一部の大学を除いて、かなり低いことが明らかとなった。紙芝居の作り方を学ぶことは、保育教材・教具としての紙芝居と絵本の特質の違いに対する理解を深め、また語彙力や自己表出力を培うことが期待できる。語彙力や自己表出力は、コミュニケーション能力を形成する重要な要素であり、保育の対象である子どもにとっても、その子どもの発達援助に携わる保育者を目指す学生にとっても、養われることが望まれるものである。

ところで、紙芝居について学んだと学生自身が自覚している学びの中身が、紙芝居の特性、保育での活用の意義や方法を理解したということの意味するかどうかは今回の調査からは明らかではない。しかし、紙芝居と絵本の使い分けの意識に関

する今回の調査結果からは、保育における紙芝居活用の意義について学生が十分に認識できていないのではないかとすることは考えられる。

さらには、保育者養成校で、紙芝居について専門的な研究知に基づいた教育・指導が、絵本ほど十分に行われていないのではないかとすることも推察される。このように考える理由として、保育者養成課程で教鞭をとる教員に紙芝居を研究する者が少ないことが挙げられる。例えば保育の実践家や研究者が多数所属する日本保育学会での最近10年間の紙芝居と絵本の研究発表件数を比較すると、紙芝居に関するもの12件、絵本に関するもの151件で、圧倒的に紙芝居の研究は少ない。学生の調査結果と合わせると、保育者養成課程に関わる教員に紙芝居研究者が少なく、よって授業でも紙芝居は絵本ほど取り扱われていないことが考えられるのである。しかし、今回の調査において、紙芝居に関する何らかの学びを経験した学生の割合が他大学に比べて目立って高い結果が出ているケースがいくつか見られた。当然のことではあるが、学生の学びの中身は、担当教員によるところが大きいということが言える。

今後、特に、学生の紙芝居に関する学びの内容について、また担当教員による紙芝居に関する教育・指導の内容について探っていくことを課題とし、調査研究を進めていきたい。その中で得られた知見から、保育者養成カリキュラムに紙芝居をメディアとして導入する方法を検討する上での示唆を得たいと考える。

#### 【注】

- 1) 鬢櫛久美子、野崎真琴「保育現場における紙芝居の活用状況」『名古屋柳城短期大学研究紀要』No. 32 2010
- 2) この調査結果については、すでに分析・考察し、以下に公表している。鬢櫛久美子、野崎真琴「保育者養成課程における紙芝居—学生のアンケート調査を通して—」『名古屋柳城短期大学研究紀要』No. 32 2010





7. あなた自身が絵本を読み聞かせたことはありますか。有るのならそれはいつ、どこで読み聞かせたのですか。(複数回答可)
- ① 有 (いつ/どこで )  
② 無
8. 絵本を作ったことがありますか。有るのならそれはいつ、どこで作ったのですか。(複数回答可)
- ① 有 (いつ/どこで )  
② 無
9. 絵本について、次の(1)から(3)に関して学んだことがありますか。有るとしたらそれはいつどこで学んだのですか。(授業での学習ならば、科目名を記してください。)
- (1) 読み聞かせ方
- ① 有 (いつ/どこで )  
② 無
- (2) 作り方
- ① 有 (いつ/どこで )  
② 無
- (3) 歴史について
- ① 有 (いつ/どこで )  
② 無
10. 実習で、絵本を実際に読み聞かせたことがありますか。
- ① 有 (中学 高校 大学 )  
② 無
11. 保育の場で使用する場合、紙芝居と絵本を使い分けるべきだと思いますか。
- ① はい ② いいえ
12. 11に「はい」と答えた方にお尋ねします。どのように使い分けるべきだと思いますか。
13. 12の考えは、あなた自身の考えですか。それともどこかで学習したのでしょうか。授業であれば、科目名で答えてください。
- ① 自分で考えた  
② 学習した ( )

ご協力ありがとうございました。

## Training Course of Early Childhood Educators and "Kamishibai" (2)

Bingushi, Kumiko\*

Nozaki, Makoto\*

本研究は、保育者養成課程において紙芝居を教育メディアとしてカリキュラムに導入する方法を今後検討していく端緒として、保育者養成課程にある学生の紙芝居とのかかわりの実態について明らかにすることを目的とする。そこで保育者養成校に在学する学生を対象にアンケート調査を実施し、紙芝居が演じられるのを見た経験、自身で演じた経験、紙芝居について学んだ経験など、紙芝居とのかかわりをどのように経験してきたかについて明らかにし、その結果について分析・考察を行った。

調査結果からは、保育者養成課程にある学生は、概して紙芝居よりも絵本とのかかわりの経験を多くしてきており、大学入学後の学習においてもその傾向がみられた。しかし、紙芝居についても、多くの学生が、紙芝居を演じた経験を特に大学入学後の実習でしていることがわかった。ところが、紙芝居について学んだ経験となると、紙芝居の演じ方は比較的学んだ者の割合が高いが、作り方や歴史について学んだ者の割合は一部大学を除いてかなり低いものであった。また、学生が紙芝居について学んだと自覚するその学びの中身が、保育における紙芝居活用の意義や方法の十分な理解を指しているかは疑わしく、さらに学生の紙芝居に関する学びは、担当教員によることも大きいのではないかということが考察された。

今後の課題として、学生が紙芝居について学んだと自覚しているその学びの内容について、また保育者養成課程における教員の側からの紙芝居に関する教育・指導の内容について究明していきたい。

キーワード：紙芝居 (Kamishibai),

保育者養成課程 (training course of early childhood educators),

カリキュラム (curriculum)